

国関整企画第 164 号
令和 4 年 12 月 8 日

横浜市長
山中 竹春 様

国土交通省関東地方整備局長
廣瀬 昌由
(公印省略)

直轄事業の事業計画等（横浜市関連分）について（通知）

平素から国土交通省直轄事業の推進にあたり、御高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当地方整備局における令和 4 年度補正予算の事業計画等のうち、貴市関連分について、別紙のとおりお知らせいたします。

(事業計画等は現時点における予定であり、今後変更する可能性があります。)

事務担当：	(全 般)	企画部	企画課	企画第一係
	(道 路)	道路部	道路計画第一課	計画第一係
	(港 湾)	港湾空港部	港湾管理課	管理第一係

令和4年度第2次補正 横浜市における負担額 総括表

(単位：千円)

事業区分	負担基本額	地方負担額
河川関係	-	-
道路関係	415,000	163,333
公園関係	-	-
港湾関係 (港湾海岸事業を含む。)	4,979,000	1,562,000
空港関係	-	-
合計	5,394,000	1,725,333

※端数処理の関係上、合計と一致しないことがある。

令和4年度第2次補正 横浜市における事業計画(道路関係〔直轄〕)

改築事業

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)						地 方 負担額	R4補正事業内容	備考	
				内 訳									計
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (金沢～戸塚)	L=8.9km	5,820	180,000	0	0	0	0	0	180,000	60,000	・工事推進: 戸塚地区改良工	
国道468号	首都圏中央連絡自動車道 (横浜湘南道路)	L=7.5km	4,600	85,000	0	0	0	0	0	85,000	28,333	・工事推進: 横湘トンネル工	
合 計				265,000	0	0	0	0	0	265,000	88,333		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注)備考欄の開通予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注)都道府県及び政令市をまたぎ実施する事業の事業規模、全体事業費については、他の都道府県政令市の区間を含む。

(注)備考欄に開通予定の記載がない区間については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で開通時期を確定する予定である。

令和4年度第2次補正 横浜市における事業計画(道路関係[直轄])

電線共同溝事業

路線名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R4補正事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道16号	神奈川16号電線共同溝	L=0.7km	9	50,000	0	0	0	0	0	50,000	25,000	・本体工事(引込連系管路工事等含む)	
	川井電線共同溝			50,000	0	0	0	0	0	50,000			
国道357号	神奈川357号電線共同溝	L=1.2km	10	70,000	0	0	0	0	0	70,000	35,000	・本体工事(引込連系管路工事等含む)	
	新磯子(3)電線共同溝			70,000	0	0	0	0	0	70,000			
計				120,000	0	0	0	0	0	120,000	60,000		

(注) 地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

(注) 備考欄の完成予定については、事業進捗等により今後、変更する場合がある。

(注) 備考欄に完成予定の記載がない事業については、完成に向けた円滑な事業実施環境が整った段階で完成時期を確定する予定である。

令和4年度第2次補正 横浜市における事業計画(道路関係[直轄])

交通安全事業(Ⅱ種)

箇所名等		事業規模	全体事業費 (億円)	負担基本額(千円)							地 方 負担額	R4年度補正事業内容	備考
				内 訳						計			
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附帯工事費	事 業 車両費				
国道1号	-	-	-	30,000	0	0	0	0	0	30,000	15,000	防護柵、区画線、情報収集機器(CCTV)	
合 計			-	30,000	0	0	0	0	0	30,000	15,000		

(注)地方負担額については、千円未満の端数処理の関係で合計が負担額通知と合わない場合がある。

令和4年度第2次補正 横浜港（港湾管理者：横浜市）における事業内容等（港湾関係）

港湾整備事業

（単位：千円）

港名	施設名	事業規模	全体事業費 （億円）	負担基本額						計	地 方 負担額	事業内容	備考
				内訳									
				工事費	測 量 設計費	用地費及 補償費	船舶及機 械器具費	附 帯 工事費	事 業 車両費				
横浜港	～国際海上コンテナターミナル再編整備事業～												
	本牧地区		3,100										
	岸壁(-16m)(改良)[D5]	L=300m		(1,872,000)						(1,872,000)	(561,600)	本体工、上部工、付属工、地盤改良工、 撤去工	
	荷さばき地[D5]	A=115,000m ²		1,872,000	58,000					1,930,000	579,000		
	新本牧地区			(1,008,000)						(1,008,000)	(336,000)	地盤改良工、撤去工	
岸壁(-18m)	L=1,000m	2,049,000							2,049,000	683,000			
	計		(2,880,000)						(2,880,000)	(897,600)			
			4,921,000	58,000	0	0	0	0	4,979,000	1,562,000			

令和10年代前半完成予定
※完成に向けた円滑な事業実施環境（注2）が
整った段階で確定予定

（ ）書きは令和4年度国債の令和4年度支出分以内数

（注1）端数処理の関係で施設毎の合計と合わない場合があります。

（注2）「事業実施環境」とは、漁業補償の締結、公有水面埋立免許の取得、用地取得の完了、土砂処分場の確保後等といった、事業を進捗させる上で不可欠な環境のことです。